

課題解決型協創インターンシップ事業（総括）

団体名 ● 神崎ゼミナール、杉山ゼミナール、渡邊ゼミナール、梅田ゼミナール

代表者名 ● 神崎淳子(経済学部経営学科・准教授)/杉山裕子(経済学部経営学科・准教授)/渡邊和道(経済学部経済学科・准教授)/梅田充(経済学部経営学科・講師)

コーディネーター ● 新広昭(総合研究所・特任教授)

【活動の総括】

はじめに

本事業は、公益社団法人大学コンソーシアム石川が公募した「令和3年度大学生の地元定着推進支援事業」の中の「教育要素の高いインターンシップ事業」として応募し、採択された事業である。

教育要素の高いインターンシップは「エクスターンシップ」と呼称されることもあるキャリア教育の一環であり、就活と直結した一般的なインターンシップとは目的が異なるものである。

SDGsの達成が国際的にも、国内的にも重要な政策課題となる中、地域の中小企業においてもSDGsの達成に向け自らの事業活動と地域課題の解決をリンクさせることによって自社及び地域に新たな価値を創造・提供し、自社と地域の持続可能性の向上を目指す動きが現れている。

学生にとっても、地域課題の解決を企業と共に若者の目線と考え、企業と地域に価値をもたらす活動に参画することは、社会に出たときに自らの仕事の意味と意義を見出す力を得る貴重な学びの場になるものと考えられる。

そこで、本事業のパートナーとして、地域課題への取り組みを活動目的の一つに掲げる「石川県中小企業家同友会」に働きかけたところ、連携の意思を示していただいたことから、本事業を実現することができた。

活動内容

学内の各ゼミに本事業への参画を呼びかけたところ、神崎ゼミ、杉山ゼミ、渡邊ゼミ、梅田ゼミの4ゼミが参画することとなった。

各ゼミのニーズとシーズ(やりたいこととできること)を聞き取り、同友会側の窓口になっていただいた地域政策委員会委員長の絹川氏(絹川商事)及び同副委員長の南氏(日本海開発)に提示し、参画企業を募っていただき、マッチングをした結果、右上表のような組み合わせで実施することとなった。

ゼミ	パートナー企業	テーマ
渡邊ゼミ	(株)炭澤鉄工	若者の人材確保のアイデア創出
	(株)絹川商事	地域課題解決のアイデア創出
杉山ゼミ	(有)三吉商店	マーケティングサポート
梅田ゼミ	(株)日本海開発	ESG 経営のサポート
神崎ゼミ	(株)スパーテル	オーダーメイド型インターンシップ
	(株)アース	
	ウエルド(株)	

成果、結果の考察

本活動の成果は、2022年3月10日に中小企業家同友会への活動報告会で発表したが、本事業を通して地域課題の解決や、地域の活性化、中小企業の問題等を、企業と学生とが一緒に考え、解決のプロセスや方向性を見出し、中小企業の課題解決や魅力づくりに繋げていけたものと考えている。

なお、本事業の概要は大学コンソーシアム石川産学官連携人材育成専門部会エクスターンシップWGでも報告した。

今後の課題、展望

今年度は本事業の取り組み初年度であったことから、まずは企業の方に「企業と学生とが協働して地域に提供する価値を創造していくためのインターンシップ」という本事業の主旨を十分に理解いただくことに注力した。

今年度の取り組み結果を踏まえ、中小企業家同友会からは来年度の事業継続のお話をいただいております。本学としても連携協定を締結して事業の位置づけを明確にした上で継続して取り組んでいきたいと考えている。

各ゼミの活動内容を次ページ以降に記載する。